

柔らかな風や、木々の健やかな芽吹きの中に、春の訪れを感じる今日の良き日。私たち新入生 58 名は、あこがれ続けた宮城学院中学校の入学式を無事に迎えることができました。

今、世界は新型コロナウイルスの影響により、不安な状況下にあります。私たちも、少なからずこの状況に不安はあり、新しく始まる中学校生活に、不安と期待が入り交じる思いを抱いていますが、それでも、前に進みたい希望であふれております。

ただ今、学院長先生、校長先生、上級生の方々から、温かい励ましのお言葉をいただきました。私たちを宮城学院中学校へ導いてくださり、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

私には、宮城学院中学校へ入学することができたら、がんばりたいと思い描いていたことが二つあります。ついに、その願いが叶うことに、とてもわくわくしております。

まず一つ目は読書です。私は、幼少時から本が好きで、色々な本の世界に触れてきました。小学校 4 年生の時、初めて訪れた宮城学院中学校の図書館は、とても温かい雰囲気、手作りの本の紹介カードに私は心を惹かれました。素敵な図書館に並ぶ本の数々、在学中に全部読み切ることが目標です。

二つ目は、視野を広げることです。今までの私は、決められた行動範囲の中で、あまり不自由を感じずに過ごしてきました。しかし、日本国内はもちろん、世界へ目を向けた時、様々な文化、言語、状況があることに気がつきます。宮城学院中学校の充実した英語教育やグローバルコミュニケーションの学びの中で、視野と可能性を広げていけるよう、努力したいと思っています。

また、私は将来、音楽に携わる仕事に就きたいと思っています。幼少時からピアノとヴァイオリンを習い、音楽が持つ力を学び続けてきました。このたびの、突然の小学校休校により、何をしたらよいか、自分にできることは何か悩んだ結果、私がまず取り組んだことは、楽器の練習でした。そして、小学校の先生へ感謝の気持ちを贈りたいと思い、演奏を録音してプレゼントしました。先生からいただいたお礼のお手紙は、私の一生の宝物です。言葉で伝えることは難しくても、音を奏でれば、人の心に必ず届くと実感しました。

色々な音楽にあふれた宮城学院中学校で過ごす時間は、私の夢の実現にとって、とても貴重なものになると思います。その恵まれた環境の中で、人間としての引き出しを増やせるよう、常に感謝の気持ちを忘れず、心豊かに過ごしていきたいと思っています。

最後になりますが、私たち新入生一同は、長い歴史と伝統を持つ宮城学院中学校の生徒としての誇りを持ち、その名に恥じぬよう、実りある学校生活を送ることをここに誓い、新入生代表の言葉とさせていただきます。